

本文書に掲載中の各種支援プログラムは、2025 年度中に実施しているものを掲載しています。
2026 年度以降については変更となる場合もあるため、詳細をご確認希望の場合は、
立命館大学 研究部 RARA(ララ)オフィス(grad-sch@st.ritsumei.ac.jp)までお問合せください

研究機関で雇用する特別研究員-PD 等の育成方針

立命館大学では、若手研究者をはじめとする研究者のキャリアステージに応じた支援と基盤的な研究支援により、個の研究力量を高めることを目標の一つに設定しています。

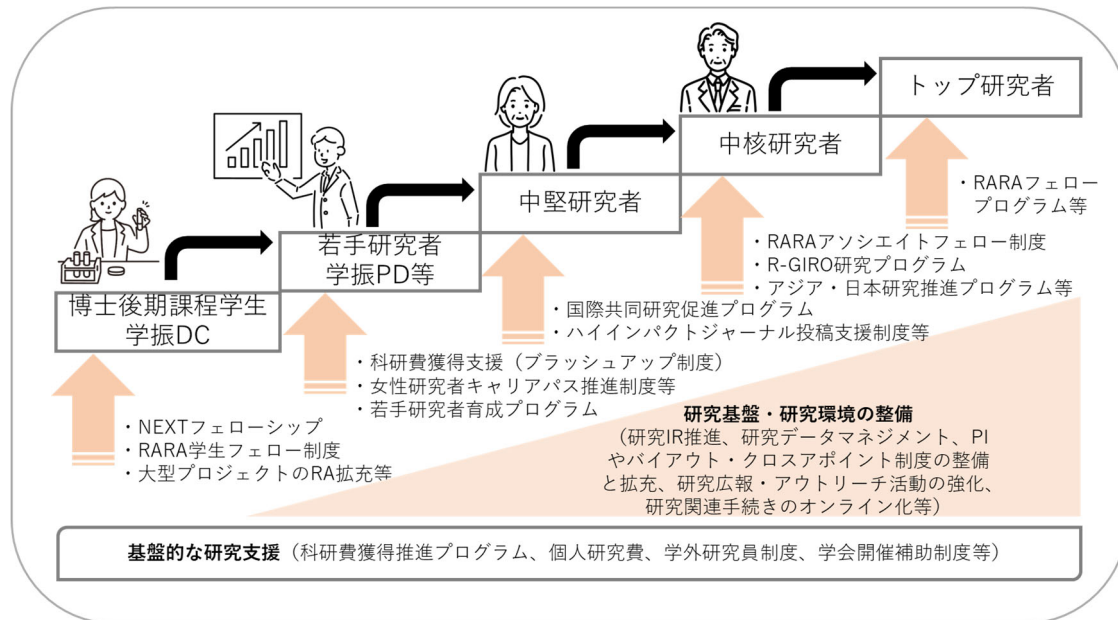


図1. キャリアステージに応じた支援の全体像

その中でも特に若手研究者の育成には力を入れており、本学で実施する特別研究員・PD等を対象とした支援内容について、4つの取り組みを記載します。

（1）グローバルに競争力のある研究者の育成

【育成方針】

- ・ グローバルに競争力のある研究者の育成に向け、海外研鑽の機会や海外機関との共同研究の機会を提供します。具体的には以下の2つのプログラムがあります。

【予定する取組】（2026 年度以降は制度変更予定）

「研究者海外渡航支援制度」：国際学会発表等での海外渡航費の支援を行います。

「国際共同研究促進プログラム」：海外の有力大学との研究連携および海外研究者との研究ネットワークの形成に向けた、国際共同研究支援（年 100 万円～400 万円、審査・選考有り）を行います。

（2）自ら研究費を獲得し、研究を推進できる研究者の育成

【育成方針】

- ・ 自ら研究費を獲得し、研究代表者として研究を推進できる研究者の育成に向け、研究費の獲得に向けた様々なプログラムや論文投稿に向けた支援を提供します。

【予定する取組】（2026 年度以降は制度変更予定）

「科研費獲得支援セミナー」：経験豊富な講師によるセミナーを複数回実施します。

「**科研費研究計画書ブラッシュアップ制度**」：審査委員経験を有する科研費申請アドバイザーによる研究計画調書のブラッシュアップを行います。

「**科研費獲得推進プログラム**」：前年度に研究代表者として科研費に申請し、不採択となった研究課題を対象に、次年度の採択に向けてのサポート資金を助成します。

「**外国語論文投稿時の投稿・校閲費支援制度**」：国際ジャーナルへ投稿を行う際に必要となる論文校正費（上限 5 万円/1 件）、論文投稿費（上限 5 万円/1 件）を助成します。

「**ハイ・インパクトジャーナル投稿支援制度**」：指定するハイ・インパクトジャーナルの投稿料および校正費について合計最大 60 万円を助成します。

（３）理論と実践力を兼ね備えた研究者の育成

【育成方針】

- ・ 理論と実践力を持った研究者の育成に向け、若手研究者のキャリアパス構築に役立つ機会を提供します。

【予定する取組】

「**新任教員対象実践的 FD プログラム**」：教育開発推進機構が実施する新任教員向けに、教育力量の向上支援として提供する研修プログラムです。自らの授業の設計、実施、評価に関して改善できる能力と、学生像を知り、コミュニケーションが取れる能力を、体系的かつ実践的に身につけることを目的としています。オンデマンド講義、ワークショップなどの形で実施しています。

（４）女性研究者に係る育成方針、予定する取組

【育成方針】

- ・ 女性研究者の活躍促進に向けては、本学所属の女性研究者のキャリアパス構築や研究開始時の立ち上げ期の支援を行います。

【予定する取組】

「**女性研究者キャリアパス支援プログラム**」：2025 年 4 月着任分は実施済み。2026 年 4 月着任分以降の実施は未定（制度の統合、廃止、内容変更の可能性あり）。

審査・選考を経て女性の専門研究員（ポストドクター）を助教として雇用するポストを一定数用意するプログラムを提供します。

「**自然科学系無期女性教員積極採用支援制度**」：2026 年 4 月着任分は実施予定。2027 年 4 月着任分以降の実施は未定（制度の統合、廃止、内容変更の可能性あり）。

新たに採用する自然科学系を専門分野とする女性研究者（教授および准教授）に対して研究スタートアップ支援を行います。

「**ライフイベントにかかわる研究支援員制度**」：2025 年度分は実施予定。2026 年度以降の実施は未定（制度の統合、廃止、内容変更の可能性あり）。

出産・育児・介護等のライフイベントと研究活動を両立できるよう、研究継続のために雇用する「研究支援員」の雇用経費を 1 期（6 ヶ月）につき最大 30 万円まで助成します。

立命館大学では以上のような多様な支援メニューを提供し、全学を上げて学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の育成に取り組みます。

表. 支援制度一覧

	支援制度名称	概要
1	研究者海外渡航支援制度	研究成果の国際的な発信を促進することを目的として、国外で開催される国際的な学会・会議などにおける成果発表や国際的なネットワーク形成に要する旅費（航空運賃実費について、100,000 円を上限）を随時募集・助成
2	国際共同研究促進プログラム	海外の有力大学との研究連携および海外研究者との研究ネットワークの形成と国際共同研究を促進することを目的に①スタートアップ型 100 万円、②共同研究型 400 万円を上限に助成
3	科研費セミナー、公募説明会	科研費シーズンに向け複数回開催（若手研究者向けもあり）、研究部 HP にて随時情報発信
4	科研費研究計画調書ブラッシュアップ制度	審査委員経験を有する科研費申請アドバイザーによる研究計画調書のブラッシュアップを行います。専門分野の近いアドバイザーから助言を頂く機会として活用できます。
5	科研費獲得推進プログラム	前年度に研究代表者として科研費に申請し、不採択となった研究課題を対象に、次年度の採択に向けてのサポート資金を助成します。
6	外国語論文投稿時の投稿・校閲費支援制度	研究成果の国際的な発信を促進することを目的として、ジャーナルへ投稿を行う際に必要となる論文校正費（上限 5 万円/1 件）、論文投稿費（上限 5 万円/1 件）について随時募集・助成する制度
7	ハイ・インパクトジャーナル投稿支援制度	指定するハイ・インパクトジャーナルへの論文掲載を目指す研究者を対象として、論文等の投稿料および校正費について合計最大 50 万円を助成
8	新任教員対象実践的 FD プログラム	教育開発推進機構が新任教員向けに、教育力量の向上支援として提供する研修プログラムです。自らの授業の設計、実施、評価に関して改善できる能力と、学生像を知り、コミュニケーションが取れる能力を、体系的かつ実践的に身につけることを目的としています。
9	女性研究者キャリアパス支援プログラム	審査・選考を経て女性の専門研究員（ポストドクター）を助教として雇用するポストを確保する制度
10	自然科学系無期女性教員積極採用支援制度	新たに採用する自然科学系を専門分野とする女性研究者（教授および准教授）に対して研究スタートアップ支援を行います。
11	ライフイベントにかかわる研究支援員制度	出産・育児・介護等のライフイベントと研究活動を両立できるよう、研究継続のために雇用する「研究支援員」の雇用経費を 1 期（6 ヶ月）につき最大 30 万円まで助成